

2) 冷水病菌と細菌性出血性腹水病原因菌の薬剤感受性の傾向

山本充孝・二宮浩司

【目的】

冷水病原因菌、細菌性出血性腹水病（シュードモナス病）原因菌に対する薬剤感受性の傾向を把握するために平成7年アユ年度～平成11年アユ年度までの薬剤感受性の傾向を取りまとめた。

*アユ年度とは11月～翌年の10月までを指す。

【方法】

冷水病原因菌は改変 *Cytophaga* 寒天培地を用い（培養温度 15℃）、細菌性出血性腹水病原因菌は感性ディスク用寒天培地-N を用い（培養温度 25℃）、それぞれディスク拡散法により図1に示す薬剤に対し、薬剤感受性を測定した。

【結果】

冷水病原因菌の薬剤感受性試験の結果を図1に示した。冷水病原因菌は、OA、SMMX、SO、NFS-Na でマイナスが多数を占めた他は比較的感受性のある薬剤が多かった。なかでもアユの冷水病治療薬として平成11年に製造承認を受けたSIZは、耐性株はなくほぼ100%で高い感受性を示した。また、単年度で取りまとめた場合でも感受性の傾向は図1とほぼ同じであることから調査したすべての薬剤に対して耐性化の傾向はみられていない。

細菌性出血性腹水病原因菌の薬剤感受性試験の結果を図1に示した。細菌性出血性腹水病原因菌についてはCL、KMで高い感受性を示した以外、感受性はほとんどなかった。また、単年度で取りまとめた場合も感受性の傾向はかわっていなかった。

表1. 薬剤の略号と成分名の対応表

薬剤の略号	成分名	薬剤の略号	成分名
OA	オキシリン酸	CP	クロラムフェニコール
SMMX	スルファモノメトキシシ	OTC	塩酸オキシテトラサイクリン
SO	スルファモノメトキシシ/オルメトプリム	DOXY	塩酸ドキシサイクリン
SIZ	スルフィソゾール	ABPC	アンピシリン
FF	フロルフエニコール	PCG	ベンジルペニシリン
CL	コリスチン	ST	スルファメトキサゾール/トリメトプリム
EM	エリスロマイシン	ENR-5	エンロフロキサシン
KM	カナマイシン		
NFS-Na	ニフルスチレン酸ナトリウム		
FOM	ホスフォマイシン		

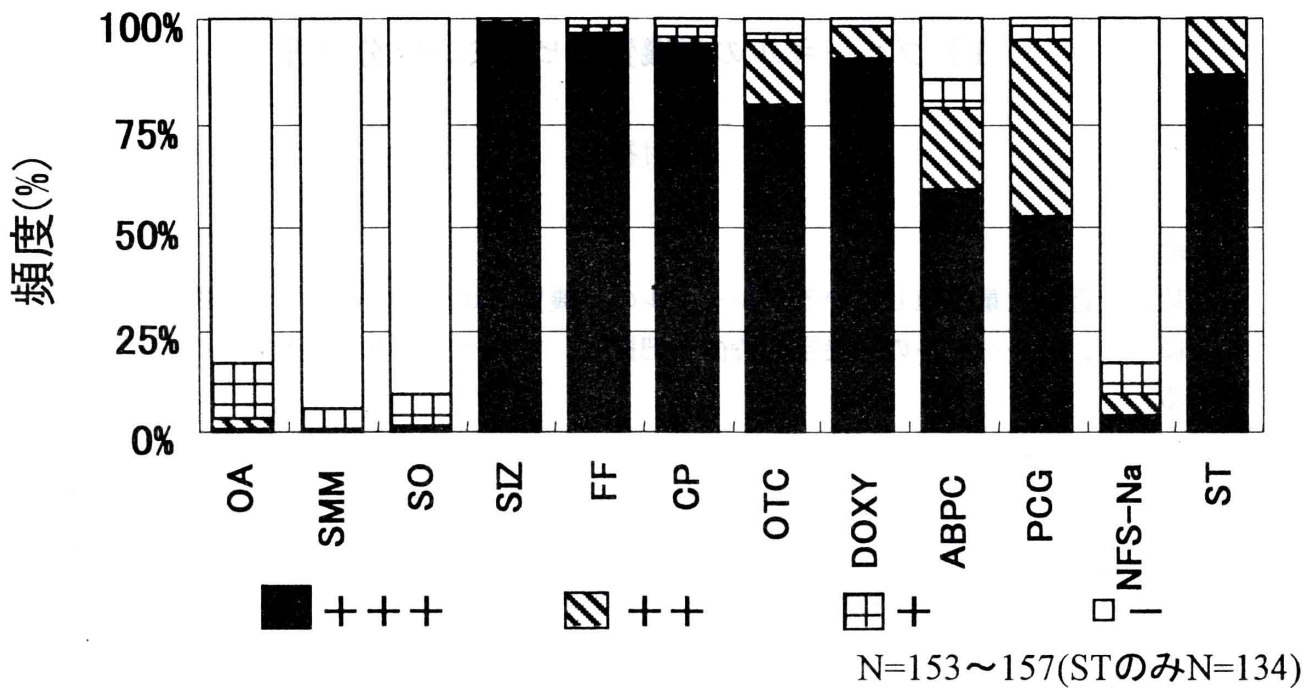


図1.冷水病原因菌の薬剤感受性試験結果(H7~H12)

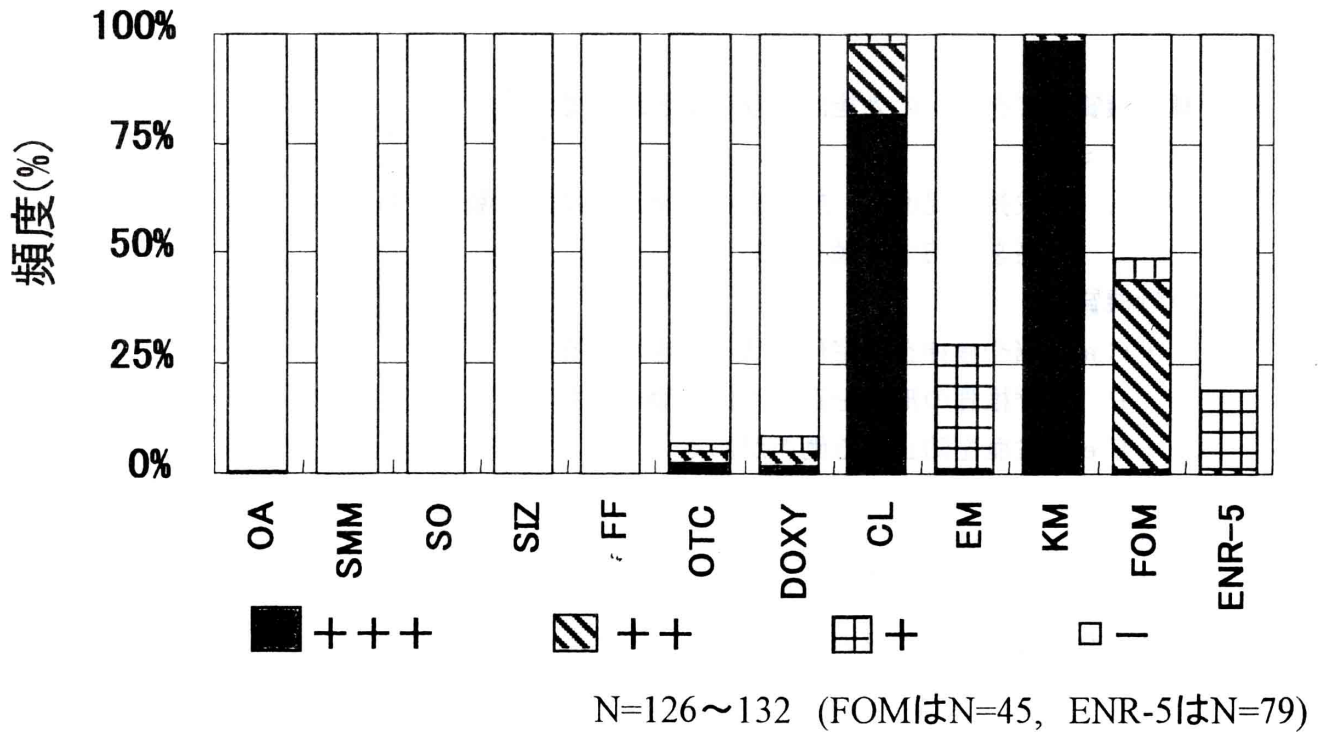


図2.シュードモナス病原因菌の薬剤感受性試験結果(H7~H12)